

スクラム

令和3年 3月 8日発行
日光市立日光中学校
日光市立安良沢小学校
日光市立清滝小学校

令和2年度 日光中学校区小中連携・一貫教育の取組

日光市立日光中学校長 宇賀神 明

去る令和2年4月14日（火）、日光中学校区小中連携推進委員会が日光中で行われました。前週に始業式・入学式を行い、再び休業となった2日目でした。その時の資料では、日光中での合同研修会を6月に行う計画でした。その後、4月26日までの休業が5月31日まで延長され、やっと6月1日から学校再開となりました。学校再開の前には、登校日をいつにするかななどを3校で話し合い、連携して決めていきました。臨時休業中も、3校で話し合う（電話やメールで）機会が頻繁にあり、連携を深めていきました。学校再開の直後では、授業や学校生活を通常にするだけでも大変でありましたので、本校での合同研修会は中止にいたしました。さらに夏の合同研修会、学校保健委員会も、毎年行ってきましたが中止といたしました。

2学期になり、運動会をどのように行うかも、連携をしました。来賓をご招待するかどうかなど、3校で情報交換をしながら進めていきました。本校の文化祭では、6年生に来てもらって交流しようと考えていたのですが、それも実行できず残念に思っていたところ、小学校の校長先生が本校の文化祭を録画してくださいました。後日、各小学校で鑑賞会（右の写真）を開いてくださいました。児童の皆さんは、中学校の文化祭を、どう感じたでしょうか。これが、今年度一番の連携行事となりました。



今年度は、様々な工夫を凝らせば実践できることを実感しました。各先生方、児童生徒の皆さん、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

小中連携・一貫教育 合同研修会様子

合同研修会

1 / 13 (水)

日光市立安良沢小学校

新型コロナウイルス感染症対策として、様々な研修会が中止や変更をされる中、日光中と清滝小から代表の方数名に参加していただき日光中学校区小中連携・一貫教育合同研修会を行うことができました。

研修会では、まず、学習指導主任の桑久保成美教諭が今年度の学校課題「主体的・対話的に学ぶ児童の育成～児童に主体的・対話的な学びを実現させるための教師力の向上を目指して（国語科・算数科を中心に）～」に関する具体的な取組をお伝えしました。次に、先崎あゆみ教諭が行った5年算数「割合 比べ方を考えよう」の授業について、市教委の飯島健徳先生から指導講評をいただきました。その指導講評を通し授業者は、児童の様子に合わせて臨機応変に授業を展開していく力量を身につけることや、全児童がB基準を達成できているかを確認する時間を必ず設けることの大切さを再認識することができました。今年度の本校の取組を日光中学校や清滝小学校の先生方に知っていただけたことで、授業を調整していく力量を身につけることの大切さや授業デザインにおけるふり返りの意義を意識することができたのではないかと思います。

また、研修会後半には、飯島健徳先生から、新学習指導要領に基づく学習評価についてご指導いただきました。評価には指導に生かす評価と記録に残す評価があり、子どもたちが指導内容を正しく理解する上で大切な働きをしていること、3観点の窓口から児童の学力をみとる場合には、具体的に児童のどのような様子から把握すればよいのかそのポイントを教えていただきました。発達段階は異なるものの、新学習指導要領に基づく評価のあり方について小中で研修できたことは、評価について同じベクトルをもち考えていく上で大変有意義な研修会となりました。



歯と口の健康づくり推進事業研究発表大会

11/2(月) 日光市立清滝小学校

清滝小学校では、令和元・2年度の2年間、日本学校歯科医会からの委嘱を受けて「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」に取り組んでまいりました。研究主題は、「主体的に健康で安全な生活を送ることができる児童の育成」です。感染症拡大防止対策のため、来賓・推進委員の皆様他、一般参加の方々は市内に限定し、2年間の成果と課題について発表しました。

毎年、日光学校給食センター栄養教諭と連携した食に関する指導を実施しています。公開授業を行った3・4年生は、栄養教諭の伊藤先生より、かむことの大切さやよくかむための工夫などについて事前に学習し、食に関する知識を深めました。



公開授業① 3・4年生 学級活動 「目指そう！清滝8020」

よくかんで食べることが、自分の健康につながることを知り、よくかんで食べるためには、どのような工夫をしたらよいのか考えることができることをねらいとしました。

地域との連携として、導入で、地域の8020達成者に食習慣に関して気を付けていることなどを伺ったインタビュー映像を見せました。

映像を通して、児童にねらいを意識させ、学習への意欲を高めました。



柔らかいゼリーと硬いグミを食べ比べる体験活動を通して、あごの動きや唾液の出方、どの歯を使ったかなどを確認しました。

また、付箋紙を活用したグループでの話し合い活動を通して、自分に合った実践可能な作戦を決定しました。

公開授業② 5・6年生 学級活動 「見つけよう！私のみがき方」

歯みがきの手順をフローチャートに表す活動（明確化・視覚化）を通して、自分の生活スタイルに合った歯みがき習慣を身に付けられるようにすることをねらいとしました。



グループでの話し合い活動では、各自のフローチャートについて、友達からアドバイスをもらったり、友達の手順で参考になる部分を真似したりすることで、自己の課題が解決できるような手順になっているか確認しました。

問題解決に必要な手順を考え、フローチャートに表すことは、論理的に思考し、判断を繰り返す、表現する力をはぐくむというプログラミング教育につながるものと考えました。

地域との連携 ～展示発表～

5年生 総合的な学習の時間 「清滝歯ッピー弁当を作ろう」



児童が歯・口の健康をテーマとしたお弁当を考案し、レストラン丁田屋の皆様の実現していただきました。体育館に展示コーナーを設け、写真や動画などで、学習の過程を発表しました。



児童が適切な歯みがき習慣、望ましい食習慣、安全に生活しようとする態度を身に付け、中学校へ進学できるように、今後も健康教育の充実を図ってまいります。